

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年9月期調査結果（2023年11月発表分）

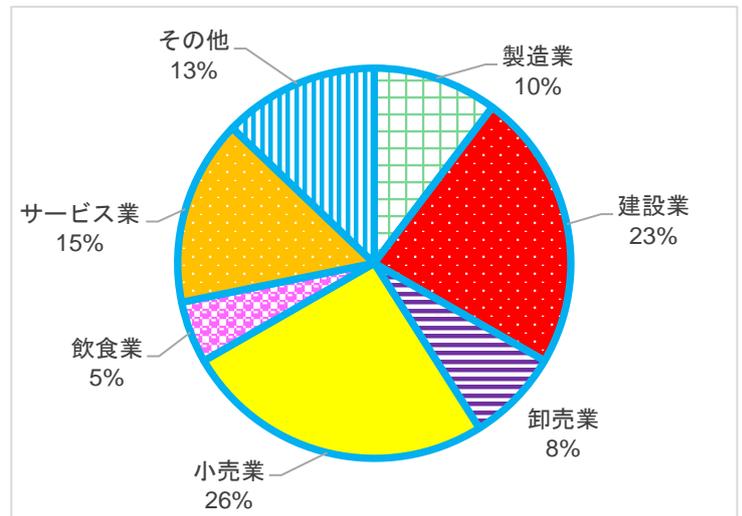
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は39名（回答率は60.9%）

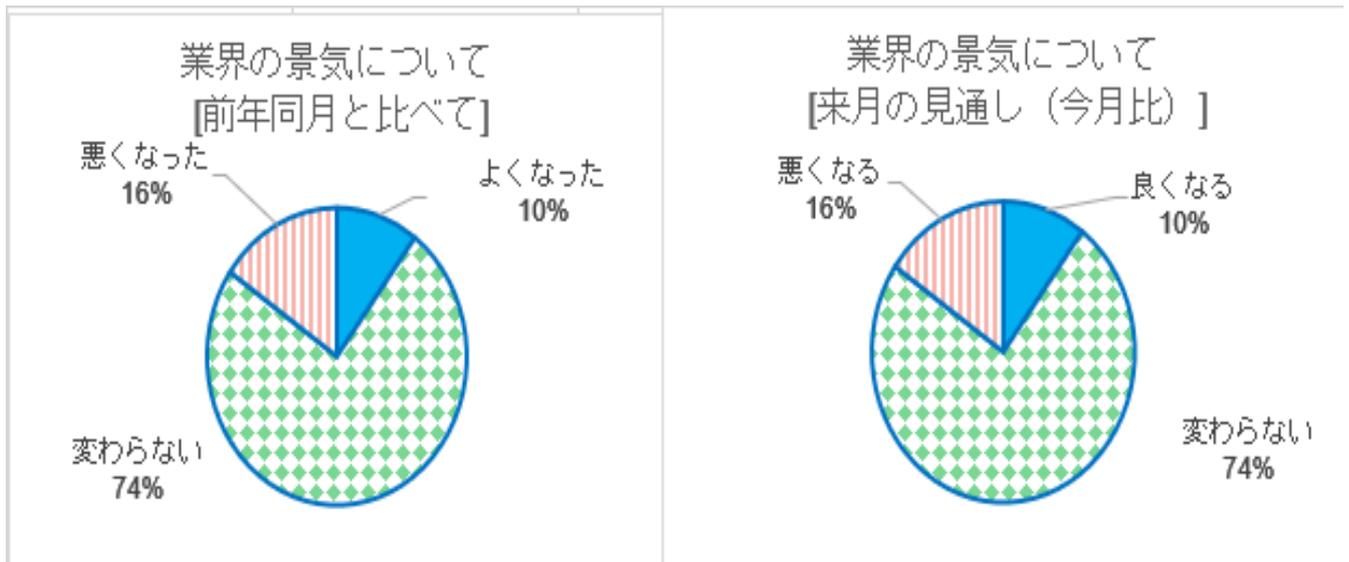
業種	回答者数	構成比
製造業	4	10.3%
建設業	9	23.1%
卸売業	3	7.7%
小売業	10	25.6%
飲食業	2	5.1%
サービス業	6	15.4%
その他	5	12.8%
計	39	100%



調査結果のポイント

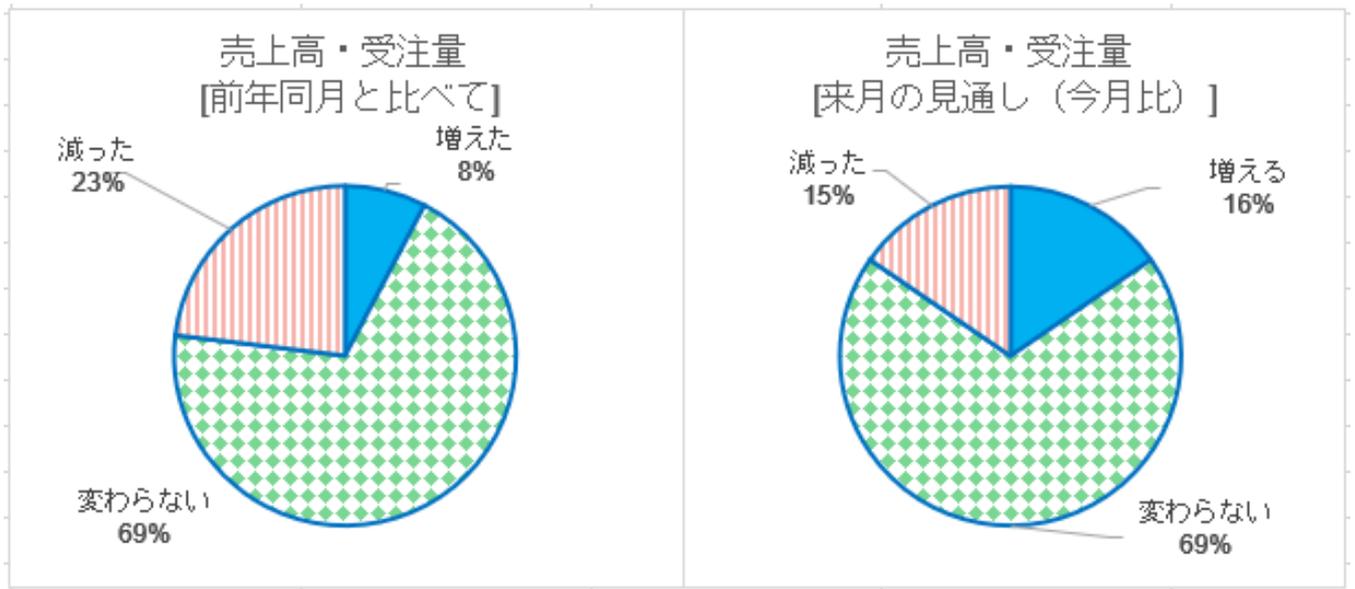
<景況>

- ・2023年9月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が10.3%、「変わらない」が74.4%、「悪くなった」が15.4%となりました。
- ・2023年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「よくなる」が10.3%、「変わらない」が74.4%、「悪くなる」が15.4%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年9月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」7.7%、「変わらない」が69.2%、「減った」が23.1%となりました。
- ・2023年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「増える」が15.4%、「変わらない」が69.2%、「減る」が15.4%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

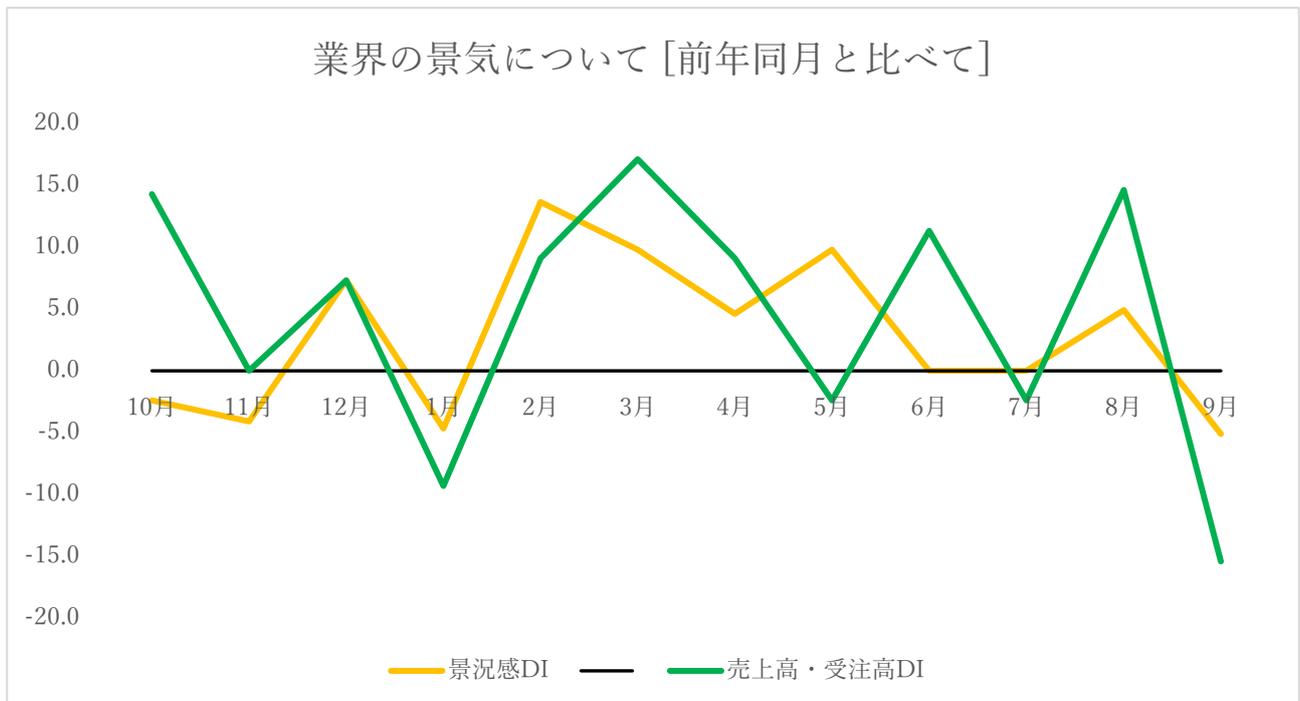
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

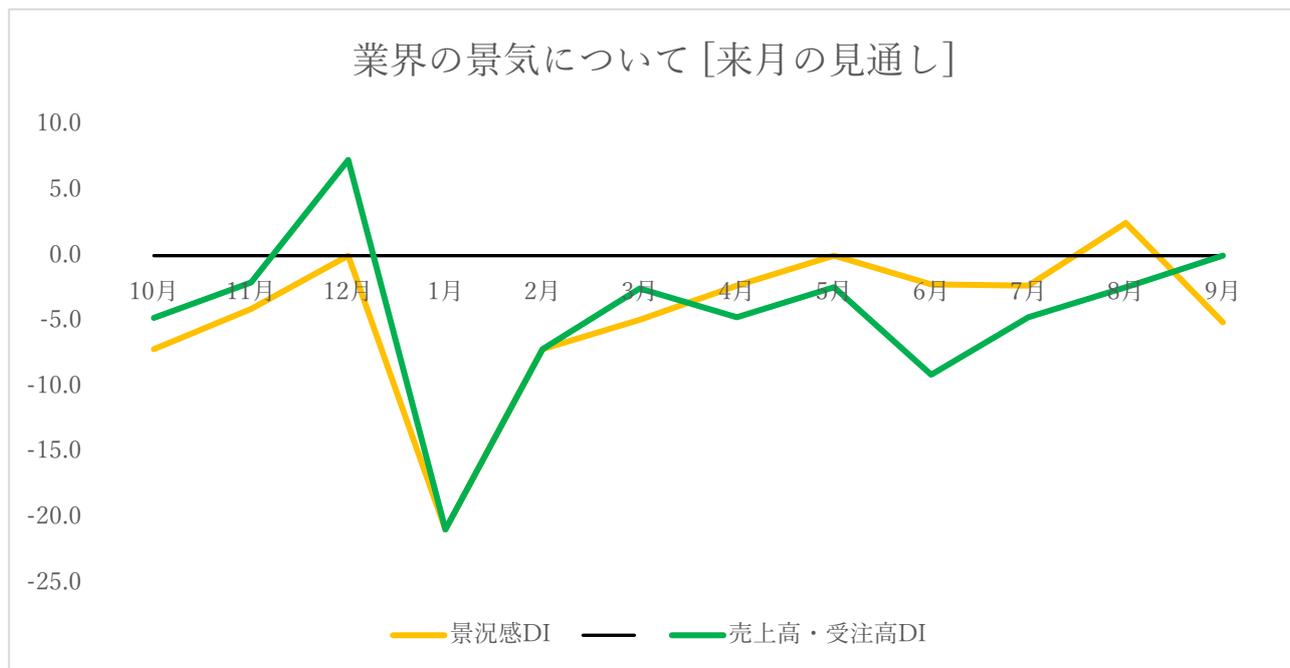
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2022年10月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4

2022年10月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	インボイスや総額表示など、本業以外で対応に追われる事が多くて困る。
建築工事業	市街化調整区域にも関わらず、元農地に住宅が新築されている一方で、空き家や空地（住宅跡地）が見られるようになった。
鑄材(卸)	工作機械、木工機械などの製造機の生産は低迷している。
税理士	物価高が転嫁しきれない。
自動車タイヤ(小)	10月からのタイヤ価格の改定は無かったので良かったが、お客様がギリギリの状態で作ってらっしゃるのが手に取るように分かるので、皆がちゃんと働けばちゃんと儲かるような国にならないかなと切に思う。
印鑑(製・販)	10月からのインボイス開始に伴う、登録番号のゴム印、Xスタンプの受注が増えた。Xスタンプは、メーカーに受注が集中し、かなり遅れている。また区再編に伴う住所ゴム印の受注が少しずつ増えてきている。直近になると納期遅れが出てくるので、早めに発注をお願いします。
警備業	多くの警備会社は、10月の最低賃金上昇以前から元請会社との契約単価上昇の交渉を行っており、多くの元請会社に受け入れられているようだ。
社会保険労務士	「年収の壁」への当面の対策案について、問い合わせが増加している。
楽器(製)	先月に比べて少し落ち着いてしまっている。
社会保険労務士	年末が近づくと「年収の壁」の相談が見込まれるが、先の先まで考慮すると一時的な策には太鼓判が押せないのが本音だ。
経営コンサルタント	全国でインバウンドの客が増えているが、浜松には影響が少ない。

ディスプレイ業	インボイスを理解していない取引先もあり、注意が必要。
電気配線工事業	仕事の受注分はあるが、対応していくうえでの人手不足が心配。
茶(加・小)	あまり売れない商品は終了し、経理は請求書等メールに変更している。
木製家具(製)	年末にむけて、受注が減っている。
司法書士	相続の相談が多くなった。
家庭電化製品(販)	R5年10月1日より、石綿事前調査 報告制度(※)がスタートしましたが、調査制度を理解している販売店は少ない。研修会が必要と思われる。 ※建築物・工作物・船舶の解体・改修工事の際に義務付けられている、事前調査結果の行政機関への報告。
総合建設業	人手不足。民間の設備投資が減少している。
同業団体(商業)	インボイス制度がよく分からないままスタートしてしまった。
事業協同組合(石油)	燃料油価格激変緩和対策事業による補助が年末まで延長・拡充されたことにより、ガソリン等の販売価格が低下し市況も安定してきたが、今後の動向がどうなるか非常に心配である。
事業協同組合(機械)	利益を出せる企業体質へ試行錯誤を重ねているのが現状。
事業協同組合(ものづくり)	製造業下請企業で設備更新など投資を抑えていることが、今後の受注に影響してくるのではないかと心配だが、材料等の価格上昇や人件費の増加でなかなか投資ができていない企業が多い。
菓子材料(卸)	値上がが続いているが、これから乳価も大幅に上がる。洋菓子のメイン商材が上がることで、どこまでお菓子の価格の上昇が許容されるのか心配。
木製家具(製)	木材の仕入れは落ち着いてきている。
燃料(小)	イスラエル・ガザ紛争で原油価格への懸念が高まっている。ウクライナ情勢・円安も好転の兆しは見えず、ガス価格高騰の不安材料があまりにも多い。
建築設計業	県内全般に、設備系の設計事務所の高齢化が進み、個人事務所では今後、高齢による廃業の可能性が高くなりつつある。設備設計事務所が少なくなると、統括である建築設計事務所が設備図の依頼先が無いために受注難になることが考えられる。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響	
③インボイス制度への対応 ④その他	
鋳材(卸)	②物価高騰、円安の影響がしばらくは続くので、景気は変わらないと思う。
税理士	③インボイスによる事務負担が増えた。
鉄材料(販)	③インボイスの登録業者になったかどうかを何度か聞かれた。
楽器(製)	②物価高騰も円安も止まらないため、せっかくの売上も利益を圧迫している。インバウンド需要も中国の問題もあり、あまりパツとしない。
社会保険労務士	③領収書の登録番号記載はゴム印で対応している。僅かな事務負担軽減ではあるのだが、煩わしい気持ちの軽減度合いは大きい。
ディスプレイ業	②③今月よりインボイスの開始、最賃の値上げがあり、今後の情勢が気になります。
電気配線工事業	③インボイス制度・電子帳簿等保存法について取引先の対応が心配。

茶(加・小)	②卸売、ホテルが4年前ほどではないが動き始めた。また、値上げした事で卸先が他に乗り換えをされた。
木製家具(製)	②物価高騰が悪影響している。安いものなら少しがんばれば買えるが、値段の張るものは手が出ない・買え控えが増えるみたいだ。 ③インボイスがはじまるが、とまどいとわからないことが多いと聞く。何回もやり直しは負担がおおきい。
家庭電化製品(販)	③当社の取引先は、事前準備が完了しているので、問題はない。3年間の優遇制度終了後の一人親方の対応の検討が必要。
事業協同組合(機械)	②エネルギー、材料高、賃金を始めとする諸物価高騰。
実業団体(税務)	③インボイス制度がスタートし、記帳要件など問合せが増えてきている。
事業協同組合(鍍金)	②エネルギー・資材の高騰により、収益率が著しく悪化。
菓子材料(卸)	③インボイスについて、直前になってやる事が明確になってきて、業務が煩雑になることに非常に危機感を覚えている。そもそも軽減税率も反対ですが、生産性向上が至上命題の中で、生産性を下げる制度は本当にやめてもらいたい。
木製家具(製)	③インボイスの対応は特に振込手数料の件で苦労している。

以 上